



「茶畑からの社会貢献」を茶畑オーナーと創り上げる
おぶぶのコミュニティー専門誌

茶畑オーナー通信

「今月のお茶 一熟成茶一」
良質な茶葉は熟成する

特集

農業を楽しく

茶畑オーナーとともに夢みる未来

農家仲間の茶畑オーナー書きおろし

やっぱり農業って楽しい！！

2011
11月号

今月の表紙はすすきと茶畑
すすきの葉が秋風にそよぐ季節には、
茶畑は冬の備えに入る。

「熟成茶」

—良質な茶葉は熟成する。

～年を経た茶葉の魅力を伝えたい。～

日本では、春に収穫された新茶だけが珍重されています。でも実は、良質なお茶は熟成するのです。低温の冷蔵庫で茶葉を熟成すると、新茶の若々しい香りが丸みを帯び、また香りが強くなります。

新茶だけが珍重され、茶葉をブレンドするのが当たり前の日本茶。だから熟成茶に出会う機会は、ほぼ皆無です。では「一年前のお茶はどうなるのか？」という素朴な疑問。通常は次の年の新茶にブレンドされてしまいます。理由は「新茶」の基準がないから。

おぶぶでは茶葉のブレンドは一切しません。だから新茶は100%新茶だし、熟成茶も楽しむことができます。ワインのごとくその年ごとに微妙にちがう香りを楽しむ。そんな日本茶をお届けしたいのです。



抽出したお茶は透きとおる黄金色が特徴

二〇二〇年産

熟成「大地の煎茶」と「風の煎茶」

二〇二〇年は、暖冬。しかも春先に霜害も出て、日本茶にとっては試練の年でした。この二〇二〇年春に収穫されたのが、今回お届けする熟成「大地の煎茶」と「風の煎茶」。この二種類の煎茶は、「在来種」と呼ばれる品種改良をされていない京都和束で生まれ育った非常にめずらしい土着のお茶です。

この「在来種」をそのまま（露地で）育てたのが「大地の煎茶」。野趣あふれる香りは、まさに大地の恵みをストレートに感じさせてくれます。そして、この「在来種」の新芽が芽吹いてから二週間、黒い覆いをかぶせて育てたのが「風の煎茶」。春、新緑の山々を吹きぬける風のようなすっきりとした香りが特徴です。

エネルギーあふれる「在来種」を約一年半、茶専用冷蔵庫で熟成すると丸みを帯びた香りとなり、円熟した味わいになります。この味わいは、茶畑オーナーさまにだけ楽しんでいただきたい貴重なお茶なのです。



大地の煎茶を収穫するようす

オーナー茶園よりあっきーの「茶畑日誌」

(2011.9.11~11.10)

「秋の整枝が春の新茶を決める」の巻

秋の農作業は、肥料まき・防除、そして整枝(せいし)がメイン。中でも整枝作業は、春の新茶のよしあしをも左右するめっちゃ大事な作業です。一番カンタンな例えでいうと盆栽みたいなモノ。根元からどんどん枝分かちしている茶の木のどの分かれ目で切るか？これがめっちゃくちゃ大事。枝分かちの先のほうで(浅く)刈れば、枝分かちが多い分、春にたくさん新芽が収穫できます(これが「芽数型；がすうがた」と言う)。



整枝前に茶刈機を整備中のあっきー

枝分かちの根元のほうで(深く)刈れば、枝分かちが少ない分、ひとつひとつの新芽に栄養がたくさんゆきます(こっちは「芽重型；がじゅうがた」)のおぶぶの場合、品質重視なので、栄養たっぷり芽重型の仕立て。春の新茶に思いはせながら、秋深まる茶畑を整えてます！来年もええ茶つくんで〜。



整枝前の茶園。どこまで成長させてから刈るか？というのも大事。



整枝後の茶園。プロが見たら、芽数か芽重かは一目瞭然だったりする。

※茶園主 喜多幸浩について；



大学時代、ニコ和東で飲んで一杯のお茶に感動。大学を中退、茶農家に。10年の修業ののち、茶畑直送のお茶のネット販売「京都おぶぶ茶苑」を設立。自らが感動した茶葉を作るために今日も茶畑に立つ。

和東のトリビア

第3回

今回のトリビアは、見た目に美しい、この時期茶畑にポツポツと見られる「茶花」についてご紹介します。

冬の季語でもあるお茶の花は、九月〜十一月にかけて咲きます。しかし茶畑にお茶の花が咲いても茶農家は喜びません。なぜなら茶花が咲くということは、茶の木の生命の危機を感じ、次世代(タネ)を残すための準備を茶の木がはじめた証拠だから。つまり栄養が十分でないということ。茶葉を収穫したい茶農家にとって茶花が咲くということとは、葉の栄養がイマイチ(肥料が十分でない)というサインなのです。

◆茶花が咲く&茶農家が悲しくなるメカニズム

- 肥料が不十分 ←
- お茶の木 栄養状態悪化 ←
- お茶の木 生命の危機を感じる ←
- お茶の木 次世代を残す準備 ←
- 茶の花が咲く ←
- 種子ができる ←
- 茶農家、悲しむ。



こんなに可憐なお茶の花も、農家にとっては「悲しい印」なのだ。



農業を楽ししく ～茶畑オーナーとともに夢みる未来～

十五年ほど昔、おぶぶ代表・喜多章浩がここ京都和東で偶然飲んだ一杯のお茶。その香りに感動し、大学を中退、新規就農したのがおぶぶ誕生のきっかけでした。だからおぶぶでは発足以来、「農業を楽ししく」することを使命とし、活動しています。

農業の楽しさを伝えるため、恒例の茶摘み体験、地元の中学校と取り組む『5カ年植林プロジェクト』、中学の時に植林したお茶の木から5年後、初収穫できる新茶を成人式ギフトで受け取れる5年がかりの物語』、毎週木曜日の思いつきリアルな「木曜・農作業体験!」、そして日々の茶作り・・・様々な活動を通じて農業の楽しさを伝えたい!と、日々活動を続けています。

しかしながら日本の農業はかなり厳しい状況におかれています。農業を支える地方の過疎・高齢化、グローバル化の波、山がちな日本の農地、そして農地法…。そもそも「日本の農業」に未来はあるの

でしょうか？

僕たちはあると信じています。ただ大量生産や価格の安さでは、今もこの先も海外の農産物には勝てないでしょう。日本の農業の未来は「高品質」と芸術的な「付加価値の高さ」にあると僕たちは考えます。高品質な農産物は、生産者の技術力、土壌・気候にかかっています。そのため農産物によっては、日本の生産者が海外で高品質な農産物の生産に乗り出す「メイドバイ・ジャパニーズ」と呼ばれるケースもあります。しかしおぶぶでは日本で、京都和東で作ることにこだわりたい。ここ京都和東には茶作り八百年の歴史と、今も伝承と革新を続ける生産技術があります。それらによりここで日本を代表する高品質な茶葉を生み出し続けています。しかし今や品質だけでは十分な評価が得られないのも実情です。だからおぶぶでは、その価値をさらに高めるために「茶畑オーナー制度」を創設しました。この制度により茶畑オーナー様に出来あがった茶葉を届けるだけで

なく、作る過程自体を共にし、単に飲むだけでは得られない価値をオーナー様と共に創造しようとしています。

今、日本ではありがたいことにほとんど人が明日の食べ物には困っていません。「食べることは生きること」なのに、です。だからこそ食べ物や農業の新たな価値を創造すべき時期だと思っております。茶畑オーナー様と共にする活動は、そんな新たな価値を生み出す原動力になると信じています。

「農業は楽しい。」なぜなら農業こそがいのちを生み出すからです。

東北復興お茶キャラバン

**真冬の東北を
お茶で暖めようね
プロジェクト**



ぜひあなたも参加しよう!



茶の里写真館

写真で見る、おぶぶが提供する
「農業は楽しい」

おぶぶはこのようなかたちで、世の中に「農業は楽しい」というコンセプトを、茶畑オーナー様たちと分かち合い、さらに広く世の中に伝道していこうと思います。



地元の小学生に茶苗の植林を体験してもらう。



地元中学生には植林から五年後に初めて収穫できる新茶を成人式に贈る。



毎年五月、知的障がいを持つ方に茶摘み体験を楽しんでいただく。



毎週木曜日に超リアルな農作業が体験できる
「木曜・農作業体験！」



お茶作りをはじめ、お茶のすべてが学べる「お茶の大学」開校！



日々の茶作りの楽しさを茶畑オーナー様や一般の方にお伝える。

一杯のお茶からはじまる
あなたのアカデミックライフ

あつた！
新しい発見！！

随時開講
入学受付中！

- 入試・・・無試験
- 学費・・・無料（寄付受付制度あり）
- キャンパス・・・お茶のある場所すべて
- カリキュラム・・・お茶の入れ方、FOODEX出展、世界茶産地サミット、茶苗の植林体験、お茶摘み交流会、古民家コンサート、など。

楽校法人 国茶協学園

お茶の大学

「農業を楽しく」を实践されている茶畑オーナー様たち

寺本農園・寺本豊さま（大阪府高槻市）

だれもがときめくトマトを栽培する農家の3代目（27歳）
 寺本農園URL <http://www.mososaka.jp/shop/shop01019>
 茶畑オーナー歴 2010年9月〜

●寺本さんのオーナーになったキツカケ
 大阪府高槻市の南部、田園の広がる農村でハウスのトマト栽培をしております。トマト本来の味・香りがあるのが自慢です！ おぶぶ茶苑さんとは通販の勉強会で出会いました。その中で、伝統ある日本茶をインターネットという近代的な手法で世界中に伝えたい、農業を守っていききたいという熱い想いを感じ、おいしいお茶をいただきながら、共に盛り上げたいなとオーナーになりました。

●寺本さんが感じる農業の楽しみ

幼い頃からトマトづくりの手伝いをしてきて、就農してからは5年目。その中で感じた農業の楽しみ、それは自然との一体感ですかね。朝、太陽と共に起きて、小鳥の鳴き声にもかわいいなと思わず微笑む。そして、トマトハウスに入ると朝日に輝くトマトちゃん達がお出迎え。元気に、おいしく育つように世話をしていると愛おしくなります。また、子どもでも手伝えるので、労働の大変さ、親の偉大さなんかも身近に感じることもできます。あと、もうひとつの楽しみは自由であること。自分で育てたものを自分で売る。そのすべての段階において自由に自分で決められるので、どうしようかわくわくします。



「自然を感じる自由」を満喫中の寺本さん

おぐらやま農場・松村輝美さま（長野県安曇野市）

信州安曇野から、りんご、トマトなどを栽培し、ネット通販で直送
 信州安曇野 おぐらやま農場URL <http://www.ogurayamashop.com/index.html>
 茶畑オーナー歴 2009年12月〜

●てるさんのオーナーになったキツカケ

こんにちは。長野県で果樹農家をしている「おぐらやま農場」の松村ことてるちゃんと申します。うちがオーナーになったきっかけは、ホームページで見たおぶぶさんの農業、お茶に対する情熱に惚れてです。同じ新規就農者として同じお茶を買うならぜひ応援したいと思うところから購入したいと思ひまして。

●てるさんが感じる農業の楽しみ

なんととっても四季折々の豊かで新鮮な野菜や果物を食べられること。そして、自然をまじかに感じられるところでしょうか。そんな「農ある暮らし」の豊かさや「安心できる食べ物」をお客様にも届けていきたいと思っています。また、WOOOFホストにも登録し、国内・国外から若者を受け入れ、生活を共にし、作業もお手伝いしてもらっています。様々な方を受け入れながらやる農業は、とても風通しがよく、自分や家族にもいろいろな刺激をくれます。世界中に友達ができるのもWOOOFホストの魅力です。他にも農業をしながら、どうやったらもっと健康にも、環境にもいい農産物が育てられるのか日々試行錯誤しながらチャレンジしていく過程も楽しいです。



農業を通じていろんな刺激を受けるてるさん一家

『東北復興お茶キャラバン』敢行!

～真冬の東北をお茶で暖めようね。プロジェクト～

気持ち、届けたい...



2012年1月5日～18日の約2週間、岩手県田野畑村から東京まで、お茶を持って賑やかしてまわります。各地の仮設住宅、老人ホーム、行政、ボランティアの方が集まる場所などで、現地の方やボランティアの方、または今回のキャラバンにご参加の方と共にお茶のイベントを開催します。

詳細はこれから語めます。

1日からでもご参加いただけるイベントも企画します。またお茶をはじめ、いま現地で必要としているさまざまな物資の寄付も受け付けます。ぜひ茶畑オーナー様もご一緒に真冬の東北をお茶で温めましょう。また現地のオーナー様! 馳せ参じますので、楽しいひとときを共にしましょう!

最新情報および詳細はおぶぶホームページをご覧ください。

<http://obubu.com/>

訪問予定地

岩手県…田野畑村、宮古、釜石、遠野、大船渡、陸前高田
 宮城県…気仙沼、南三陸町、女川町、石巻、塩釜、仙台
 福島県…南相馬、二本松(双葉町)、会津若松(大熊町)、いわき
 関東…境町、狭山、南足柄、東京

※ 次回の発送は12月28日頃の予定です。

●編集後記「ぶぶ漬けたべやー」

いつかはその日が来るかと思っていました。でも思ったよりも早く来ました! 和東茶の喫茶店がついにオープン! しかも京都のど真ん中、大丸京都店内です。夕方16:00～20:00(火曜日定休)という少し変則的なお店ですが、おぶぶのお茶を飲んでいただける機会が格段に増えました。ぜひ京都に来られた際には、お立ち寄りください。茶畑オーナー様には大サービスしまくりです。ちなみにこの和東茶屋おぶぶ店長の芳野くんも茶畑オーナーさまです。イケメン23歳(愛媛県出身)ですので、ご来店の際にはぜひお声がけを〜♪

今日のオーナ=状況

(2011年10月末日現在)

- 人数: 総数572名 ●坪数総計: 619坪
- 配送先: 10カ国(日本、アメリカ合衆国、ドイツ、フランス、韓国、オーストラリア、台湾、スイス、イギリス、ハンガリー)
- 人数の多い都道府県: 1位 東京、2位 大阪、3位 京都

企画・編集

京都和東
茶 **おぶぶ茶苑**

〒619-1213 京都府 相楽郡和東町 南 大生水4-4
 フリーダイヤル **0120-309-022** FAX 0774-78-2215
 Mail obubu@obubu.com 京都おぶぶ茶苑 検索

活動報告 茶畑オーナーさまのおかげで、たくさんの活動が実現しました。ありがとうございます。

～ 日本茶を世界へ ～

■ 10/31 ITFA国際茶園協会 GTT (グローバルティーテイスタークラブ)

世界を代表する茶生産国6カ国からお茶が直送されるGTT(グローバルティーテイスタークラブ)。第2回は、台湾の茶産地3カ所(阿里山・竹山・魚池)から世界のお茶好き50人に茶葉をお届けしました。



■ 10, 11月の海外からの茶畑ツアー

アメリカ・カナダ・イギリスから3組6名のお茶好き(TeaLoverたち)をおぶぶの茶畑にご案内しました。



■ 11/3 お茶の大学 第2回講座 「お茶と禅」@禅寺

キャンパスは茶畑、入試・留年・入学金ナシ、卒業しないのがいい生徒の「お茶の大学(略称:お茶大)」。第二回目講座は「お茶と禅」。京都和東の禅寺「大智寺」にて開催。



■ 12/10 お茶の大学 3回目講座「国際茶園協会の未来」(京都・和東)

お茶の大学・3回目講座は「国際茶園協会の未来」について。お茶の未来について熱く語り合いましょう!(参加費:1500円)



■ 3/6~9 国際茶園協会Foodex出展 (千葉・幕張)

国際茶園協会にて、国内最大の食品見本市Foodexに国際茶園協会にて出店します。ブースでは世界中の茶産地直送のお茶を試飲できます。

FOODEX JAPAN

■ 3/10, 11 世界茶産地サミット@京都・和東

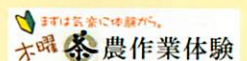
世界中の茶生産者と茶畑直送の茶葉、そして世界のお茶好きが集まる年に一度の「お茶の祭典」です。

世界
茶産地
サミット

～ 農業を楽しく ～

■ 毎週木曜 「木曜・農作業体験！」

毎週木曜に茶畑での本格的な農作業を体験していただく「木曜・農作業体験」。を実施しました。10, 11月は、秋の番茶の収穫などを体験。



■ 11/9~大丸京都店におぶぶのお茶(和東茶)が飲める喫茶店がオープン

大丸京都店B1食品売場にて11/9から火曜以外の毎日16:00~20:00におぶぶのお茶(和東茶)の喫茶店がオープン。夕方16時以降なら、いつでも(火曜以外)大丸京都店でおぶぶのお茶が飲めます!茶葉も買えます!



～ 茶畑からの社会貢献 ～

■ 9月 茶葉30kgを寄付。福島県南相馬市の仮設住宅の皆さまに

海外の方が中心に支援活動を続けるSAVE MINAMISOMA プロジェクトと協力し、福島県南相馬市の仮設住宅の皆さまに茶葉30kg(約300世帯分)を寄付しました。



■ 1/4~17 真冬の東北復興お茶キャラバン(青森~東京・期間2週間)

来年1/4~17の二週間、真冬の東北をお茶で暖めます!青森を出発し東京まで、被災地でお茶のイベントを開催。茶畑オーナー様もぜひご参加しませんか?(最短1日からご参加可能・詳細はおぶぶホームページにて)



その後の予定

4/7茶苗の植林体験 4/28春の茶摘体験 5/12日本一の茶摘体験 7/7 夏の茶摘体験 9/29秋の茶摘体験